



アフターコロナにおける 病院経営

病院経営
公開
シンポジウム
オンライン開催

令和2年

10月18日 日

13:30~16:30

参加費無料

WEBミーティングツール・ZOOMを利用

平成30年度より、病院MBAの内容を凝縮して提供することで、OODA(Observe, Orient, Decide, Act)を実践できる病院のトップマネジメントと現場責任者を養成するプログラムを開発しました。

今回はアフターコロナにおける病院経営をテーマに、病院経営のエキスパートが社会的に求められている背景や、現在の取り組み、今後の展望等について、情報を発信・共有いたします。

対象

病院経営に関心のある方
ならどなたでも

申込

☑メール(is21@kochi-u.ac.jp)にて受付
●申込期限:10月13日(火)

お名前、ご所属先(任意)をご記入の上、メールの題名を「1018シンポジウム参加」としたメールをお送りください。

いただいたメールのアドレス宛にオンラインシンポジウムの招待メールをお送りさせていただきます。
※10月14日までに招待メールが届かない場合は、下記電話番号にご連絡ください。

プログラム

13:30~13:35

開会の辞

本家 孝一(高知大学理事(研究・評価・医療担当))

13:35~15:45

パネルディスカッション

※パネリストが30分ずつ講演した後、40分議論を行います。

テーマ

「アフターコロナにおける病院経営」

パネリスト

岡田 節雄

(坂出市立病院 病院長)

上村 浩

(高知工科大学経済・マネジメント学群准教授)

斐 英洙

(ハイズ株式会社代表取締役、高知大学客員教授、慶應義塾大学特任教授)

座長

平尾 智広

(香川大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座教授)

菅沼 成文

(高知大学医学部長/事業推進プロジェクトリーダー)

15:45~16:25

四国病院経営プログラムの紹介

「ミニケースによる模擬授業」/斐 英洙
ケースディスカッションによる病院経営講義を実施

16:25~16:30

閉会の辞

菅沼 成文

※後日、メールにてアンケートを送らせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

